

キンシ正宗（キンシ正宗）

キンシ正宗は、1781 年に高品質な湧き水で知られる京都の中心部、中京区亀屋町に松屋久兵衛（生没年不詳）によって、設立された。同社は水を最も重視していたため、1880 年に移転したときも独占できる井戸の上にある伏見の現在の場所を選んだ。

名水、常磐井は自然の恵み「nature's bounty」、または命の水「the water of life」としても知られている。キンシ正宗がその恵みを利用するようになってから 140 年以上経った今でも、毎時 70 トンの水が湧き出ている。

キンシ正宗の会社のモットーは、京都で作られたという意味の「京仕込み」である。キンシ正宗は、冬季に日本酒が製造される様子を見学するツアーを提供する数少ない蔵元の 1 つである。事前に予約する必要がある、香水をつけたゲストや、発酵大豆の一種である納豆を最近食べたゲストはツアーへの参加を禁じられる。香水の香りは日本酒の最終的な風味に影響を与える可能性があり、納豆自身の微生物は非常に強力であるため、同社の日本酒の生産に不可欠な酵母や麹菌を殺す可能性があると考えられているからだ。